

専門分野への招待（被服分野）

家政教育 眞鍋 郁代

【コース初歩学習科目の目的】

まず、このコース初歩学習は、学校教育教員養成課程の学生が四月に入学してのち、各専修に所属してから受講する科目であり、その目的は各専修の分野についてイメージを把握すること、その分野の履修において必要な基礎的知識・スキル・取り組む姿勢を習得していき、専門分野の学修への動機を高めるといふものである。よって到達目標としては、まず家政教育に関する基礎的知識を身につけ、教員となる自覚を促し、自発的に専門性を高めていく契機となればと考えている。

【今回の授業「専門分野への招待（被服分野）」の目的について】

「コース初歩学習科目」自体は、1年生たちが家政教育専修に所属してから間もなくの開講となる。今回の「専門分野への招待（被服分野）」は授業実施時期が各専修分属後約3ヶ月経過していたことと、「コース初歩学習科目」と並行して後期より学生たちにとっては必修科目であり、被服分野の専門科目である「被服学」も開講しており、ある程度授業回数が進行していたことから、今回の授業「専門分野への招待（被服分野）」は専門分野の概要紹介という形はとらずに、「被服学」の内容も利用し、まず被服分野に興味・関心を持ってもらうことを第一に、そしてのちにその内容を、家庭科分野の教材としても、学生たちが自由に発展させることもできると考えた内容を選択した。内容は、天然繊維の中でも羊毛を取り上げ、その性質を利用したものづくり『フェルトボールを作ろう』を実際に行うことで、その独特の性質に対する理解を深め、教材作りへの応用もできることを目的とした。

【授業を行う上での工夫】

今回の授業内容が、羊毛から縮絨（フェルト化）を経て、自分たちの手でフェルトを作製するというものだったので、繊維の性質に興味や関心を引き起こす目的には適った題材だったとは考えている。

しかし、この内容を90分の授業時間内にいかに収めるか（作業時間の確保）ということに、私自身腐心してしまったくらいがあった。

羊毛からフェルトを作製する際に、石けん水（洗剤水溶液）を用いるが、この溶液を何で作るかについて、石けん、シャンプー、台所用洗剤で試作を行った。効率のよいフェルト化につながることも大事だが、実際に作業に当たる者（受講学生）の手（皮膚）にダメージを与えない観点から選べば、シャンプーを選択するべきであったが、試作時の状況から、わずかでも羊毛のフェルト化が進みやすいと思われた、「液体石けん」を実際の授業で採用した。

また、石けん水を羊毛に繰り返し何度もかけるという作業が羊毛のフェルト必要であり、じょうろ様のものが必要であった。しかし市販品のじょうろを与えるのではなく、同じ役割をする代替として、空ペットボトルを再利用する形で、キャップに錐で数個穴を開けたものを（本当は、学生自身に作ってもらいたかったが、授業時間の関係上）事前に準備した。

【授業の到達度】

授業実施者の自分としては、羊毛のフェルト化の作業について試作を重ねたものの、今回の授業内容が90分で収まるかどうか確信を持ってないまま当日を迎えてしまったが、実際の授業では、受講学生の方が要領を得るのが早かったらしく、後片付けを含めても、90分で収めることは十分可能

だったように見受けられた。しかし授業実施者の私に全く余裕がなく、先にも述べたが、この内容を90分の授業時間内にいかに収めるか(作業時間の確保)ということに、私自身腐心してしまっていたため、当日行う作業内容を理解させることに気をとられ、この授業の目的や到達目標がわかりにくかったことは、大いに反省すべき点だった。

広く受講してほしい題材の授業であっても、受講者が一部重複すれば、コース、専修によって、受講できない学生が発生することは対応の難しい問題であると感じた。

この授業における目的、到達してほしい目標を授業者である自分は明確に示すことなく授業を実施してしまった。しかし、授業アンケートから、学生たち自らの力で多くのことに気づきを得ており、私が学生に救われる結果となった。

【授業アンケート回答内容】

公開授業名：コース初歩学習科目

授業内容：専門分野への招待(被服分野)

-羊毛を使ってフェルトをつくらう-

授業公開日時：2009年12月14日、限

受講者数：6人

公開授業参観者数：3人

アンケートは、『この授業を受けて、わかったこと、思ったこと、考えたこと、何でも書いて下さい。(自由記述)』と指示。(以下内容)

- ・ みんなで楽しみながらフェルトについて学べたと思います。普段このような経験をすることはないので、貴重な経験になりました。見た目は残念なことになってしまったけれど、みんなに自慢してみたいと思います。
- ・ 今日の授業はとても楽しかったです！羊毛とキレイキレイを使ったらこんなにかわいい丸いのができるなんて驚きです！羊毛は水につけるとかなり変わったことからウールは水につけるとこういう風に縮むのかと思いました。また家でもやりたいです。
- ・ セーターはよく縮むけれどなぜかという理由を知らなかったので知ることができてよかったです。毛糸を用いてフェルトを作ることが

でき、普通の糸ではできないなぁと感じながら作ることができました。すごく楽しかったです。

- ・ 今日はとても楽しく取り組むことができました。初めはとてもふわふわだった羊毛が、石けん水をかけて一生懸命ころがすことで本当に固くなっていきました。フェルト化していく様子が自分の手で実感することができたので、良かったです。アルカリの水というのがやはり大切だったのでしょうか。量はいい加減でよかったけど、多く石鹸を入れたほうが固まるような気がしました。あと大量の水と聞いていたけれど、お湯だったので先生の優しさを感じました。ペットボトルのやつも事前に作っていただいてありがとうございました。とてもスムーズに楽しくできました。
- ・ 楽しかったです。ウールが何で縮むのかも、よくわかりました。見た目だけではガサガサになっているのがよくわからなかったけれど、丸めていくうちに、縮んでいくのはよくわかりました。最初はふわふわしていて、ちゃんと縮むのかとても不安だったけれど、丸めてぬらしての繰り返しだけで、羊毛からちゃんとフェルトができるのは面白かったです。やっぱり一気にやるより、徐々にやっていくのがコツだと思いました。
- ・ 講義より何か作るのが好きです。
- ・ 今日はフェルトを作りました。フェルトは私もぬいぐるみを作るときなどに使いますが、どのように作られているか知らなかったので自分で作ることができてとても楽しかったです。原理が思ったより簡単で、羊毛が縮んでしまう原理と同じというところが、「羊毛は水により傷みやすい」という特徴を、悪いところを良いところに変えるすばらしい発想力だと思いました。フェルトを作る時に、キューティクルが開いて絡まりやすくするのが実感できました。フェルトを大きいものにすればぬいぐるみも作れます。今日は本当に楽しい授業でした。